

- ・ PPEは、使用毎に行う通常の点検に加えて、定期的に適任者による詳細点検を受ける必要があります。ペツルは製品の使用期間を通し、12 ヶ月ごとの点検および特殊な状況での使用後の点検を行うことをお勧めします。
  - ・ PPE の点検は、メーカー指定の点検方法に従って行ってください。
- 点検に関する資料はペツルのウェブサイト [PETZL.COM](https://www.petzl.com) からダウンロードできます。

## コネクター



### 1. 製品履歴の把握

異常な劣化が認められる PPE は、詳細点検を受けるまで隔離する必要があります。

ユーザーは以下の事を行う必要があります:

- 使用状況に関する正確な情報を記録する
- PPE に生じた特殊な事象を全て記録する

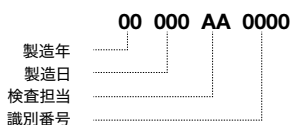
(例: 用具の落下、墜落を止めた、極端な高/低温下での使用または保管、メーカー施設外での改造等)

### 2. 予備的観察

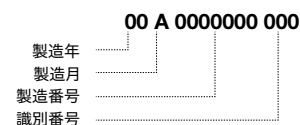
個別番号と CE マークが付いていることおよび判読できることを確認してください。

備考: 製品記載の個別番号のコード体系は変更されています。コード体系は2種類あります。それぞれのコード体系は以下を参照してください。

コード A:



コード B:



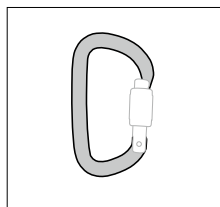
耐用年数が過ぎていないことを確認してください。

新しい状態にある同一製品と比較して、改造が施されていないことおよびパーツが欠損していないことを確認してください。

### 3. フレームの点検

適切に点検を行うために、フレームの一部を隠しているすべての用具をコネクターから取り外してください。

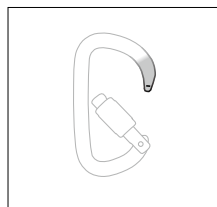
例: ランヤード、『ストリング』の付いたエネルギーアブソーバー付ランヤード、『トラック』プーリー



・ フレームの状態 (変形、ひび、傷、摩耗、腐食等) を確認してください。

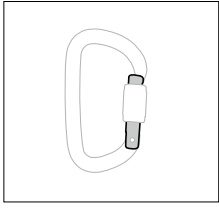


・ ロープやアンカーとの接触による摩耗を確認してください (例: 傷の深さ: 1mm以上の摩耗は深刻、鋭いエッジが生じ始めている)。

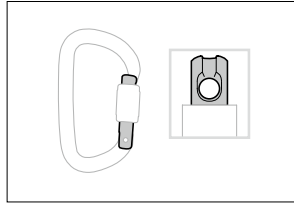


・ ノーズの状態 (変形、ひび、傷、摩耗、腐食等) を確認してください。

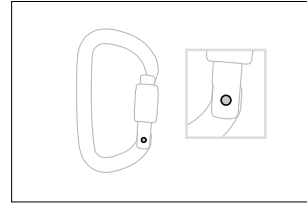
#### 4.ゲートの点検 (モデルによって異なります)



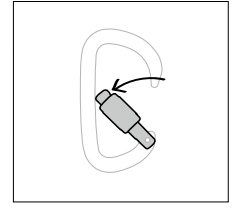
・ゲートの状態 (変形、ひび、傷、摩耗、腐食等) を確認してください。



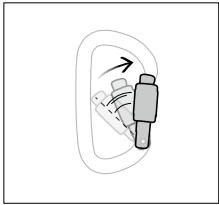
・キーロックスロットに汚れがないことを確認してください。



・リベットの状態 (変形、ひび、傷、摩耗、腐食等) を確認してください。

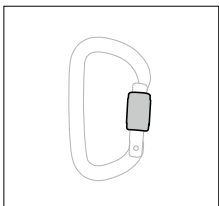


・ゲートが完全に開くことを手動で確認してください。

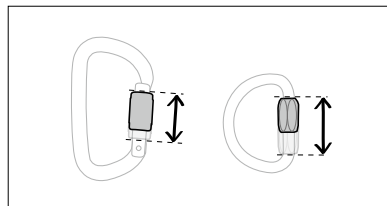


・ゲートとノーズの位置にずれがなく、スプリングが機能してゲートが自動で閉まることを確認してください。

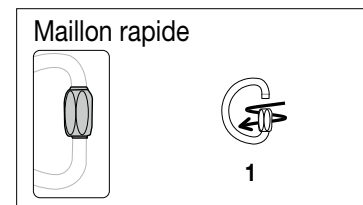
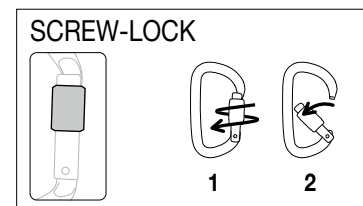
#### 5.スクリューロックスリーブの点検 (モデルによって異なります)



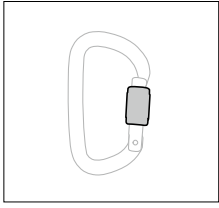
・ロックングスリーブの状態 (変形、ひび、傷、摩耗、腐食等) を確認してください。



・ロックングスリーブを完全にロック、ロック解除できることを確認してください。必要に応じて、中性洗剤と水で洗浄し、軽く潤滑剤 (例: グラファイトパウダー) を付けてください。ロックングスリーブが停止位置を越えて回転しないこと (例: ネジの溝が損傷) を確認してください。

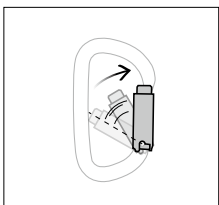
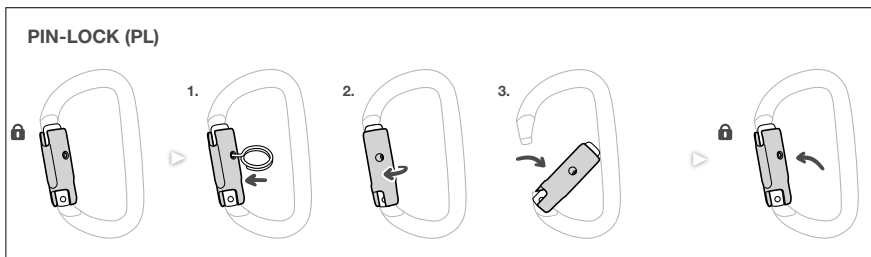
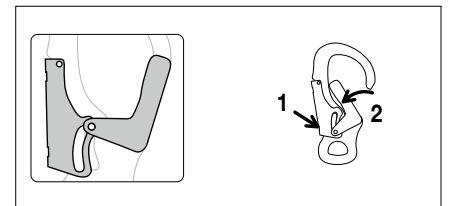
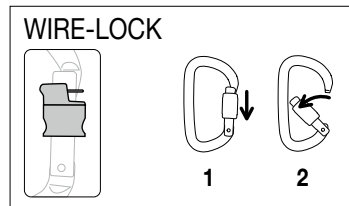
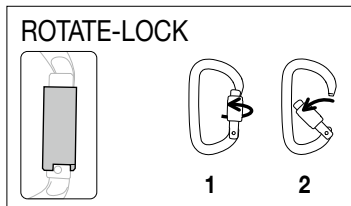
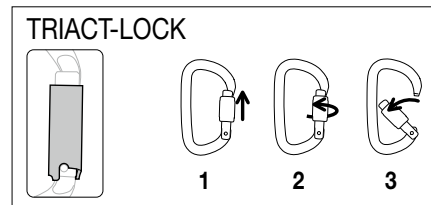
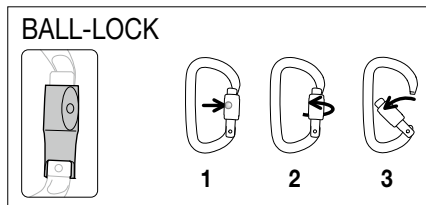


## 6.自動ロックシステムの点検 (モデルによって異なります)



・ ロッキングスリーブの状態 (変形、ひび、傷、摩耗、腐食等) を確認してください。

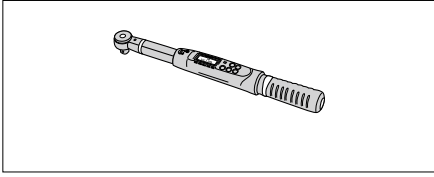
・ コネクターの取扱説明書に記載されている方法によって、ロックを解除するシステムが適切に機能することを確認してください。



・ ゲートとスリーブから手を放した際に、自動でロックすることを確認してください。  
必要に応じて、中性洗剤と水で洗浄し、軽く潤滑剤 (例: グラファイトパウダー) を付けてください。

## 7.「オープン」タイプのコネクターのゲート

- ・トルクレンチを使用して、ネジの締め付けトルクを確認してください (締め付けトルクは製品の取扱説明書に記載されています)。



- ・製品の状態により必要な場合のみ、ネジを取り外して製品を別々に点検してください。この場合、取扱説明書に記載されている取り付け方法を参照してください。

補足情報: 点検中に確認すべき一般的な症状の例

・ フレームの傷



・ ひびの入ったフレーム



・ 腐食



・ ゲート / ノーズの位置のずれ



・ ロッキングシステムの不良



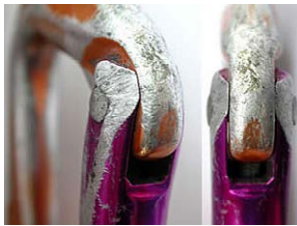
・ ひびの入ったゲート



・ 腐食



・ 摩耗したゲートとフレーム



・ ロッキングスリーブの損傷



・ ロッキングシステムの不良



・ 腐食



・ ロッキングシステムの不良



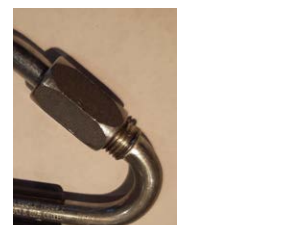
・ 腐食



・ ロープによって摩耗したフレーム



・ ロッキングシステムの不良



・ ひびの入ったゲート



・ スプリングの不良



・ スプリングの不良



補足情報: 点検中に確認すべき一般的な症状の例

・ ロッキングシステムの不良



・ スプリングの不良



・ ロッキングシステムの不良

